

### 第3学年 算数科学習指導案

日時 平成30年10月 5日(金) 5校時  
児童 3年1組 男9名 女9名 計18名  
指導者 \*\*\*\*

#### 1 単元名 かけ算のしかたを考えよう

#### 2 単元について

##### (1) 児童について

—省略—

##### (2) 指導について

本単元では、何十、何百×1位数の計算や、2, 3位数×1位数の筆算の仕方などを学習する。何十×1位数、何百×1位数では、10や100を単位として考えると既習の九九に置き換えられること、2, 3位数×1位数の計算の仕方を考える時には、分配法則を活用することに気づくことが大切である。模擬貨幣や既習の数の構成などに関連づけて、イメージを図っていききたい。また筆算については、繰り上がりや位取りについて、すぐ理解できない児童がいることが予想されるので、筆算の仕組みや筆算の意味をきちんと理解させた上で、筆算形式の練習に取り組ませていきたい。

「話す・聞く、学び合う」活動については、ペア学習において自分の解決方法を、位や計算の順序を考えて説明させたり、自分の考えと友だちの考えを比べながら聞かせたりしたい。また、全体学びでは、間違いやすい解答例を通して、お互いの考えを発表させ、よりよい解決方法について考えさせたい。

本時の指導では、2位数×1位数の筆算の仕方を基にして、3位数×1位数の筆算の仕方を同じように考えさせ、その筆算の仕方を理解させることをねらいにしている。2位数から3位数に位が大きくなり、同じように考えようとしても、位取りに迷う児童も出ることが予想される。ペア学習で自分の考えを友達に説明させた上で、全体学びに入った段階で、筆算の位取りの間違った例を提示し、自分の考えとどこが違うのか、どんな理由で間違っているのかなど、考えを出し合わせることで、正しい筆算の仕方についての理解を深めさせたい。

#### 3 単元の目標

◎2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算について理解し、その計算が確実にできるようになるとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。

[関心・意欲・態度]

○2～3位数×1位数の筆算の仕方について、乗法九九などの基本的な計算を基にできることよき気づき、学習に生かそうとしている。

[数学的な考え方]

○2～3位数×1位数の筆算について、数の構成や既習の乗法計算を基に考え、表現したりまとめたりすることができる。

[技能]

○2～3位数×1位数の乗法の筆算の手順を基にして、計算が確実にできる。

[知識・理解]

○2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方について理解する。

○乗法の結合法則を理解する。

#### 4 本時の指導

(1) 目標

3位数×1位数（部分積がみな1桁）の筆算の仕方について理解し、計算することができる。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

評価基準	B おおむね満足できる	C 支援を要する児童への手立て
【技】2位数×1位数の既習の乗法の筆算を基にして、3位数×1位数の筆算の仕方を理解し、計算することができる。	2位数×1位数の既習の乗法の筆算を基にして、同じように3位数×1位数の筆算の仕方を考え、その筆算の仕方を理解し、計算することができる。	2位数×1位数の計算の仕方を表した壁面掲示の図などを見せながら、個別に指導をし、自力解決を図らせる。

(3) 本時の展開（8／15時間） 研究テーマとの関連＝☆

段階	学 習 活 動	指導上の手立て（評価）
つかかむ  (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁面の掲示などを活用して、前時までの2位数×1位数の計算の学習を振り返りをさせる。</li> <li>問題の題意をつかませ、乗法の立式へとつなげる。</li> <li>式をノートに書かせ、理由を聞く。</li> <li>立式の根拠を図などで確認する。</li> <li>前時までの計算との違いを明確する。</li> <li>答えは、900ぐらいと予想を立てさせる。</li> <li>2位数×1位数の時の位ごとに分けて計算したことを想起させて、問題解決の見通しを持たせる。</li> <li>教科書の式の考えを友達に説明させ、3けた×1けたの計算を、位ごとに分けて計算する（分配法則）と、答えが出せることを全体で確かめる。</li> <li>自力解決では、筆算に取り組みさせ、友達に説明できるようにすることを指示する。</li> </ul>
	<p>1 問題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     1 mのねだんが312円のリボンを、3 m買います。代金はいくらですか。                 </div>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>立式する。 <math>312 \times 3</math></li> </ul>	
	<p>2 課題設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     3けた×1けたの筆算のしかたを考えよう。                 </div>	
	<p>3 見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>答えの予想をする。</li> <li>2けた×1けたの計算と同じように、位ごとに分けて計算できないか考える。</li> <li>教科書の式を使って、友達に位ごとに分けた計算の仕方を説明する。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <math display="block">  \begin{array}{r}  312 \left\{ \begin{array}{l} 300 \times 3 = 900 \\ 10 \times 3 = 30 \\ 2 \times 3 = 6 \end{array} \right. \\  \hline  \text{あわせて } 936 \\  \text{答え } \underline{936 \text{ 円}}  \end{array}  </math> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>位ごとに分けて計算する仕方を生かして筆算の仕方を考える。</li> </ul>	

<p style="text-align: center;">(25分)</p>	<p>4 自力解決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆算で計算する。</li> </ul> $\begin{array}{r} 312 \\ \times 3 \\ \hline 936 \end{array}$ <p>5 学び合い</p> <p>(1) ペア学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>隣同士で説明し合う。</li> <li>自力解決できなかった場合は、できたところまでを説明する。</li> </ul> <p>(2) 全体学び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆算ではどのようにすればよいか考える。</li> <li>誤答例(部分積を省略しない形)を提示し、話し合う。</li> </ul> <p>(例)</p> $\begin{array}{r} 312 \\ \times 3 \\ \hline 6 \\ 30 \\ 90 \\ \hline 126 \end{array}$ <ul style="list-style-type: none"> <li>誤答の理由を考える。</li> <li>○答えが違う。</li> <li>○どこをまちがえているのかな。</li> <li>○位の位置がおかしいぞ。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <math display="block">\begin{array}{r} 312 \\ \times 3 \\ \hline 6 \\ 30 \\ 900 \\ \hline 936 \end{array}</math> <div style="margin: 0 20px;">→</div> <math display="block">\begin{array}{r} 312 \\ \times 3 \\ \hline 936 \end{array}</math> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい筆算の仕方をまとめる。</li> </ul> <p>6 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>3けた×1けたの筆算も、2けた×1けたと同じように、位ごとに分けて計算すればまとめることができる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すぐ解決できた児童には、筆算の手順について、言葉でノートにまとめさせ、友達に分かりやすく説明できるように準備させる。</li> <li>すぐ取りかかれない児童には、2位数×1位数の筆算の図や見通しを活用できないか考えさせる。</li> </ul> <p>☆ノートを見せ、指さしながら、自分の解決方法を順序よく話をさせる。聞き手には、自分の解決方法と比較させながら聞かせる。</p> <p>☆誤答例を提示し、どこを間違えているのか、根拠を明確にさせて、話し合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>位ごとに分けて計算する考えを基に、答えを書く正しい位置について考えさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>3つの分けて計算する式や筆算の考え方と関連づけながら正しい筆算の仕方をまとめる。</li> <li>教師が児童に問いかけながらまとめる。</li> </ul>
--	---	--

生 か す  ( 10 分 )	<p>7 評価問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 P104 ❶の①～⑦の7つの問題をノートに解く。</li> </ul> <p>8 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 問目はみんなで一緒に解き、2 問目からは自力で解かせる。</li> <li>机間指導し、個別指導する。</li> <li>正答を準備しておき、できた児童には各自丸付けをさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       ≪評価≫【技】3位数×1位数の計算の仕方を理解し、計算することができる。(ノート)     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習を通して、わかったこと、がんばったことなど、学習の振り返りを書かせ、発表させる。</li> </ul>
--------------------------------------	--	---